

## 輸送動向について(6月分)

平成19年7月

### 1. 輸送概況

今月は、中旬に東海道線根府川駅構内での機関車故障に始まり、東海道・山陽線での人身事故等が重なる輸送障害が発生した他、下旬には東北線さいたま新都心駅～大宮駅間における架線切断事故の影響で、終日ダイヤが混乱し、月全体では高速貨66本、専貨3本が運休した。

荷動きについては、中旬までは輸送障害の影響もあり、低調に推移したものの、下旬に入り比較的堅調な出荷となった。

コンテナ貨物では、たばこが減送となった食料工業品の他、化学薬品、積合せ貨物、エコ関連物資が前年を下回ったものの、政府米及び民間流通米の堅調な出荷が続く農産品・青果物をはじめとして、化学工業品、自動車部品などが前年を上回り、コンテナ貨物全体では前年比102.4%となった。

車扱貨物では、セメントが前年を上回ったものの、重油が減送となった石油の他、石灰石などが前年を下回り、車扱貨物全体では前年比93.3%となった。

### 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,915	1,871	102.4%	5,696	5,592	101.9%
車 扱	920	986	93.3%	2,818	3,071	91.8%

### 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	145	125	20	116.0%
	化学工業品	193	184	9	104.9%
	化学薬品	141	144	-3	97.9%
	食料工業品	304	305	-1	99.7%
	紙・パルプ	316	314	2	100.6%
	他工業品	143	139	4	102.9%
	積合せ貨物	204	207	-3	98.6%
	自動車部品	66	60	6	110.0%
	家電・情報機器	37	33	4	112.1%
	エコ関連物資	30	35	-5	85.7%
	その他	336	325	11	103.4%
	コンテナ計	1,915	1,871	44	102.4%
車 扱	石油	531	578	-47	91.9%
	セメント	81	76	5	107.3%
	石灰石	64	68	-4	92.9%
	車両	101	110	-9	92.1%
	その他	142	154	-12	92.5%
	車扱計	920	986	-66	93.3%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)